# 常磐毎日新聞

日刊
四月二十二日 夕刊
定價 一部金四錢 一ヶ月金五拾錢 前納五厘
廣告料 普通一行五拾錢 場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠 平市長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社 （振替口座）東京 四〇二一〇番

印刷の御用は
常磐毎日印刷株式會社へ
電話六三〇番

## 東北第二位の鮫◇川◇橋 近く完成す

### 長さ四百米の美觀は石城が誇る名物の一ツ

既報＝工費三十二萬圓を投じ去る十二年四月着工された植田町と錦村をつなぐ鮫川橋はいよ〳〵五月中旬竣工することになつたが

この橋梁は長さ四百米幅七米五〇、東北一の秋田縣雄物川の大橋に次ぐ長距離橋で仙臺土木出張所では大橋梁に美觀を添へるべく植田街通り六百二十米の鋪裝工事を一月中旬から始めており完成の暁は東北の名物が一つ增すことになる

---

中等學校長會は五月一日から二日間會津中學校で開催されるが平市からは磯水磐中、服部平商、正木磐女の各校長が出席する

### 勿來町の勇士座談會

勿來町では明二十三日午前九時から同町稲荷神社で忠魂祭を執行終つて日露以來の勇士と今次事變の歸還兵をかこみ座談會を開くが併せて今年度入營兵の武運長久祈願祭を行ふ

### 泉、小名濱間 運輸機關統制

#### 海岸軌道が買收

泉―小名濱間の定期乘合バスは從來磐城海岸軌道會社と泉村大平自動車部が協定經營してゐたがこの程路線單一化の方針により兩者折衝の結果大平自動車部は路線權利及ひハイカー二臺、バス五臺を海岸軌道へ讓渡することになり二十一日買收契約成立今後は海岸軌だけが經營することになつた

### 母校出身散華勇士の 合同慰靈祭執行

#### 磐中同窓會で準備中

磐中では五月六日同窓會と聯合同校講堂で今次事變に戰病死された關係勇士の慰靈祭を催すことになり目下準備を進めてゐる

**山田青年團總會** 山田村青年團では今二十二日小學校で總會を開催本年末に表彰する「銃後農村の代表的中堅青年」の表彰規定を定め併せて各自の努力を促した

### 性懲りなく

#### 武次また盗む

小名濱町字古湊漁夫大山武次（四六）は去る十三日同町野崎杢四郎さん所有の漁船からマニラロープ三貫匁を窃取したこと發覺今二十二日平署に檢擧された

同人はさきにも窃盗罪で檢擧送檢されたが微罪で不起訴になつた男である

### 三校長出席 縣下

### 電話器荒しは

#### 泥醉者の惡戯と判る

既報＝花の松ケ岡公園の公衆電話を荒した犯人は其後平署で調査の結果目撃者の談により泥醉者が惡戯半分に叩きこわし泉水へ投込んだことが判り目下この不埒者を嚴重捜索中である

### 三井氏へ 紺綬褒章

畏き邊りでは社會公共の爲に多額の私財を寄附した人々に對し二十一日紺綬褒章を下賜された關係者左の通り

△平市三井榮一氏（平市公會堂建築資金一萬圓を寄附）

### 手當の金額 國防へ献金

勿來町山添炭坑坑夫安藤傳助氏（五二）は過般病氣のため健康保健法の手當金を受けたがこの金を戴いては濟まぬと全額の十三圓四十四錢を炭坑事務所を經て國防費に献金した

### 軍事後援會へ

平市下平窪の念佛講中では今二十二日鈴木子之吉さんが代表金十圓を市軍事後援會に寄附した

### 評判の軍國爺さん

#### 銃後縱橫の活躍

植田町番正下飲酒店森山熊次郎さん（六四）は日淸、日露の兩役に參加し殊に日露の役では奉天の大會戰で兩足に重傷を負つた勇士だが二人の息子がありながら一人も軍籍がないのは遺憾だとて切めて銃後の護りを固めて御國のために盡そうと店の中に青年達の姿をみるや商賣も忘れて前線の將兵の勞苦を偲べと諭し殊に酒に醉ひ口論等を始める客等があると懇々と時局の重大さを說いて追ひ返へす仕末で町では軍國呑み屋の異名さへつけてゐる程である

### 養鷄報國へ邁進

## 養鷄の泉村

### 組合の株式化を圖る

鷄卵だけでも年產四千貫を超えてゐる泉村ではこの程全村を擧げて養鷄組合に參加し「養鷄報國」の實をあげようと村長江尻博孝氏外村内有志が養鷄組合を母體として株式による新組合を設立することになり目下株式應募中だがこの資本總數三千圓、今月中には設立される筈で全戸加入を目標としてゐる

設立後は飼育鷄一萬五千羽を目標に鷄卵の活潑な東京方面への出荷も行ふ計畫であり更に養鷄完全配合肥料年產二千俵（一俵七圓）を出し郡下一圓に販賣、來春までには工費三千圓を投じ孵化場、鷄卵處理所並に肥料配合所を建設される豫定で孵化場主任には同村出身高等鑑別師笹川勇氏が就任することになつてゐる

### 植田工場協會總會

植田署管内の工場協會總會は二十九日同署樓上で開催優良從業員の表彰がある

## 町村長大會で 模範吏員表彰

本縣町村長大會は二十三四の兩日相馬郡原町實科高等女學校で開かれるがこの席上湯本町書記鯨岡一馬、小名濱町同村上眞太郎兩氏は優良町村吏員として表彰されることになつた、その功績は左の如くである

△鯨岡氏―勤續二十二年主として勸業統計、學務、戸籍、寄留事務を擔任し精勵恪勤事務の刷新改善をはかりその成績良好にして整理の見るべきものありその他庶務を兼任町民に接するに懇切熱誠事に當り町民の信望が厚い當年五十四才

△村上氏―勤續十九年現在庶務を擔任且つ勸業、統計、兵事、上水道を兼務し熱心事務に當りその成績良好模範吏員その他諸法規の研究諸帳簿の整理等に努力した功績著なるものがある、當年四十九才

小名濱支局通信

## 小名濱校の陣容（二）

支局長 小野務平

◇西山校長以下の人材◇

學校は人物を造り上ぐる唯一の機關である、事に勿論である殊に國民基礎教育の源泉たる小學校に在りては其の胎教が重要視されると同樣に第二世を出す上にも最も重要な機關であるこの重要な機關に携はる教育家の人物亦詮衡に重きを置かねばならぬ、所は往昔寺小屋式の個人教育に依つて育成された時代とは全く其趣きを交いた衆團的教育を必要とされた今日では其教育者の人格手腕が亦別個の教養に依つて人と爲つた所謂人材を網羅せねばならぬ所に苦心が存するのであつて今日の學校長は教育的見識は勿論多分に持合せを必要とすると同時に行政的手腕、や外交的長所も持合せなければならぬと云ふ昔日に比し以上の職務をも課せらるゝ事となつた況んや小名濱校の樣に六十名近くの訓導を統御せねばならぬと云ふ事は一層一層此邊の消息に通しないとせば遂に退陣の已むなきに至るや必然であると謂はねばならぬこの準繩を以て小名濱校を量らむとすればどうなるかと云ふのか檢討の第一歩である

西山校長は郡内は勿論縣下幾千の教育者中非凡の頭角を顯現し得た人材中の人材として遺憾がない、即ち師範卒業後本校に赴任したのは明治四十一年度である當時の校長は恩師會田先生であつて首席としては平第一校長の篠山君で同僚としては松屋、龜田、阿部、渡邊、永山、助川等の訓導であつたが何れも古陋退嬰的な連中で何と云ふても篠山、西山、の存在は群鷄に一鶴の觀をあらしめた

殊に其壇上に於ける教化振りは昔日の個人教育と遜はざる師弟愛の結合水も洩さぬ密度に出でた事は西山君の教育的眼識の超越して居つた所である、この人材をして出入八ケ年の薫育に精神を歩み込み大正四年師範附屬訓導として招かれた、この師範入りは他日の大教育家たるの土臺を作る上に其撰に當るもので同僚間の羨望の的となるのが普通であるが亦師範訓導の辛勤や言ふべからざる勞苦が籠つて居る西山校長は師範訓導として足かけ四年の大正七年本校の首席として師範訓導から拔かれて赴任した

當時會田先生歿後の任校長は福尾君で福尾君亦師範卒業後草野校に赴任し草野から直ちに師範附屬に入り小名濱校に首席として篠山君の後をつぎ首席の椅子に据はり會田先生を助け歿後弱冠を以て校長に昇格したのであつて、其首席として西山君が赴任したのである、當時の同僚は餘程趣きを代へ人材吸收に相當な苦心を拂つたもので其痕跡が殘されてある即ち柴田、木村、水品、松本、鈴木、小泉、等の新進の訓導で多々濟々と云ふ方であつた、其中に立ちて西山君の首席振りは一線亂れぬ統制で他日の校長學は福尾氏に依つて編かれたと云ふ結果となつた

（續く）

### 他人樣の古レールで

#### 一儲けして御用！

四ッ倉町原田機械商前科二犯菊地高位は知人の平市白銀町袖山傳次氏が十數年前久之濱、大久兩町村に跨がつて敷設した砂利運搬軌道が、その後使用しないため埋沒してゐるのに目をつけ鐵飢饉の折柄一と儲けしようと、この程レールの讓渡證書を僞造して私かに賣買の登記を濟ませ、總額四千圓の中から約百三十圓分を掘り返し賣り飛ばしたこと發覺、詐欺竊盗罪で二十一日四ツ倉署に檢擧された

### 吏員表彰

戸籍事務の功勞で平市書記小泉長佐、高久村書記藁谷明の兩氏は二十一日郡山市公會堂で開かれた福島地方裁判所管内の戸籍事務聯合協議會に功勞者として地方裁判所長から表彰された

### 藝妓屋總會へ 組合長等出席

全國藝妓同盟會は二十五日東京目黑雅叙園で開かれるが地方から左の人々が出席する

△平―組合長國府田直良、顧問野崎滿藏、幹事鈴木武雄、濱野延由 白土喜伯

△江名―佐藤半三

### 謝禮を献金

湯本町入山炭礦社宅早大生生田目耕中君は春の休暇に歸宅同礦の事務を手傳ひこの程禮金を贈られたがこの中金三圓を國防費に献金した

### 第一線から

#### 忠魂祭へ寄附

四倉町出身佐藤（賢）部隊山野邊軍兵衛氏は兄磐松氏弟七郎氏と共に目下中支戰線で活躍してゐるがこの程執行された忠魂祭に金五圓を新妻町長宛送つてよこし關係者を感激させた

### 出征軍人遺家族慰安 『三曲演奏の夕』開催

平市中町遠藤眞咲氏主催の出征將士並に戰死者遺族慰安の三曲演奏會は三十日午後六時から市内公會堂で開かれる

### 水石へハイク

平山岳會では明二十三日水石山へハイキングを行ふ

### 戰地より通信

○○駐屯小林（淸）部隊 小磯 常松君

成吉斯汗紀元七三四年四月十日

其後は御不沙汰致しました。月日の推移は實に白駒の隙を過ぐるが如く一昨年夏御召に應じて出征以來早や一ヶ年を過ぐる九ケ月北支中支と轉戰しあらゆる困苦と戰ひあらゆる苦鬪を續け東洋平和確立の聖戰に參加して自己の本務に邁進致し北支を更に○○○まで乘りました

此間私共の腦裏に深く刻まれたるものは銃後の赤誠であります戰線にある將兵の最大の關心は實に祖國輿論が確乎として一致せしや否やと云ふ事であります

日露戰爭の局を結んだ當時敵將クロパトキンは斯ふ謂はれたそうです『日本軍の背後には燃ゆるが如き銃後の熱誠があつた、これに反してロシヤには此の力が全くなかつたこの事が勝敗の重要な原因であると』實に然りであります銃後の力それは私共をして水火も辭せざらしむる原動力となるものであります

今や敵の咽喉部廣東を落し其心臓部である武漢三鎭をも攻略して皇軍の意氣や正に衝天海には海南島を占領し重慶昆明攻て遠からず利に依つて親蔣を待つ第三國の支援何者ぞ、蔣の迷夢醒めざる限り斷じて膺懲の手を修めず東洋永遠の平和の礎石造るは我々大和民族に課せられた重大使命であります

再後益々奮勵努力皆々樣の銃後の熱烈なる御後援に應ずる覺悟であります

追つて今度部隊名左記の通り變更され次期戰の準備中であります

（隊名略）

## 新稅に就て

### 【四】

平稅務署長談

◎經營者の經營申告及記帳義務

一、料理店、待合、旅館、貸座敷及引手茶屋の經營者は店毎に左の事項を記載したる申告書を所轄稅務署に提出せねばなりません。

（イ）經營者の住所及氏名又は名稱
（ロ）經營する場所の種類及名稱並に所在地
（ハ）從業者の種類及員數
（ニ）經營する場所の構造其の他設備の概要
（ホ）開業の年月日

及經營者は一回の遊興飲食毎に少なく共左の事項を帳簿に記載する義務があります。

（イ）遊興又は飲食を爲したる者の數
（ロ）料金の種類及金額
（ハ）二人以上共同の遊興又は飲食に付ては一人一同の料金
（ニ）料金領收の年月日

二、經營申告は本年四月一日以後に於て料理店、待合等の經營を爲さんとする者は經營せんとする時、本年三月三十一日以前より經營してゐる者は本年四月末日迄に申告せねばなりません。

◎關係者の記帳及申告

藝妓の檢番、藝妓置屋等は藝妓の出先毎に

（イ）藝妓の名稱
（ロ）花代の金額

を帳簿に記載すると共に毎月分の花代を出先の場所毎に區分記載したる申告書を翌月十日迄に所轄稅務署に提出を要するのであります。

◎遊興飲食稅の罰則

詐欺其の他不正の行爲に依り遊興飲食稅をホ脱せんとしたるときは稅金の五倍に相當する罰金に處せられます。其の他前述した種々の申告義務を怠り又は不正の申告を爲し、或は帳簿の記載を爲さなかつた樣な場合は罰金又は科料に處せられます。

◇

遊興飲食稅の內容は大略以上の通りでありますが、本稅の徵收に附稅務署は業者の組織する團體に徵稅上の補助を求むることになつて居ます。此等の團體に對しては國家より若干の交附金が交附されるのであります。

最後に、遊興飲食稅の施行と共に、業者及關係者は法律上種々の義務を負ふこととなり、何かと手數もかゝることゝなりますが、本稅が戰費支辨の爲の稅であることを認識せられ、國家の難局に處するの心構へを以て、本稅の圓滿、適正な施行に協力せられんことをお願ひし致します。

（終）

### ラヂオ JOHK

今晩の部

▽後六、〇〇（子供の時間）うたのおけいこ ダン道子
▽後六、一五 講演「工場從業員の疲勞の事故」醫學博士吉水萠
▽後七、三〇 國民歌謠
▽後七、四〇 講演「東亞協同體と民族問題」經濟學博士加田哲二
▽後八、〇〇 新大衆演藝會 一、ヌライ輕音樂、●●クスタケルイオサ 二、二人漫談、森野鍛冶哉藤尾純三、歌謠曲徳山璉四、立體講談維新の暁五、管絃樂による俗曲、小梅

明日の部

▽前九、三〇（子供の時間）うたのおけいこ ダン道子
▽前一〇、四〇 戰歿將士慰靈祭實況―靜岡縣周智郡久努西村秋庭總本殿遠州可睡齋本堂より中繼
▽後〇、〇五 地唄と箏曲 佐藤正和外
▽後〇、三〇 東京大學野球聯盟リーグ戰實況―明治神宮外苑野球場より中繼◇（野球實況なきときのみ次の演藝を放送）◎大衆の午後◎ 一、〇〇 講談「醍醐の花見」小金井芦州、落語「初音のつゞみ」蝶花樓馬樂、琵琶「壇の浦」高倉旭子、浪花節「豐川利生記」浪花亭愛造、劍戲物語「天誅組」犬養一郎
▽後六、〇〇（子供の時間）お話と音樂、お話「お父樣の顏」安倍季雄、音樂「君が代行進曲」獨唱河村順子、齊唱小鳩會
▽後七、三〇 講演
▽後七、五〇 靖國神社臨時大祭招魂式模樣實況―靖國神社招魂齋庭より中繼

### 平市人事

◎出產

△中平窪字松川一六平川富信氏二女クニ子さん

謹告
來ル四月二十五日靖國神社臨時大祭ニ付敬意ヲ表シ謹テ臨時休業仕候
平市銀行組合

專門
花柳病科
婦人科
產科
▽入院隨意
井坂醫院
平市田町 電話五五九番

齒科口腔外科
レントゲン科
院長 東京齒科醫學士 原精一
電話三一番
平市土橋通
原齒科醫院

喜多流謠曲と仕舞のお稽古をお奬め致します
入會隨時
平市田町六九
喜多流 謠曲 仕舞 白土會
電話二一七番

## 愛憎三度笠

吉川延作
瀧秋方畫

### しがらみ 六 …（239）…

「困つたなア、俺は殿樣そんな話はしたくはないのだよ」

と、源十郎は頭をかいた。

「いえ〳〵あなたには、何でもないことでございませうけれど妾には大切なことでございますわ」

お綾の目が、熱心にもえればもえるだけ源十郎は困つてしまつた。

「そなたの大切なことが、この俺に大切でないことはないさ」

「それでしたら猶更のことぢやありませんか」

「それが……それがどうも……」

と、源十郎は俯いひしぶる。

「どうしても御話下さいませんのでございますか」

「いや、さういふわけではないさ」

「さうでございますか、そんなに仰しやりにくいのでございましたらもう御尋ね申しません」

と、彼女はホッと深い吐息をつく、ぐつたりと頭を垂れて、深い悲愁に落ちてしまつたのである。

所が、源十郎はお綾のさうした態度に深い不安を感じ出したのである。

「ねえ、そんな態度をとられると俺は困つてしまふよ、俺はね實はそなたの身を思ふからいはないのだよ」

「エ、、それはよくわかつて居りますわ、けれどもそこまで仰しやれば仰しやつて下さらないことが却て妾に不安を增させます」

「なるほど」

彼女の言葉に源十郎に思案の[illegible]しをせずにはゐられなかつた。

「さうでございませう、お話し下されば、妾が心配することゝ申せば必ず悲しいことにちがひございません、どんなことか、悲しいと知りながら、その眞相がわかりません悲しいことが世の中にございませうか、よいにしろ、悪いにしろ事情がわかれば思案の方法もございます」

彼女は、涙をふくんだ目で靜かに源十郎の顔を見あげて、氷のやうな顔をふせた。

「ウン、さうだ、それに違ひないが、俺はそなたのその肉身をながめると、どうしても口に出て來ないのだよ」

彼も腕をくんで、深い吐息をして胸へ込んだのである。お綾ははためてゐた涙をボロ〳〵とこぼしはじめた。

「勘忍して下さい、勘忍して下さい、貴方のお心はよく推察いたして居ります、けれども御願でございます、どうかお聞かせ下さいませ」

と、袂を、押しあてゝしまつた。

「何と、その言葉も道理であれば仕方がない、宜しい」

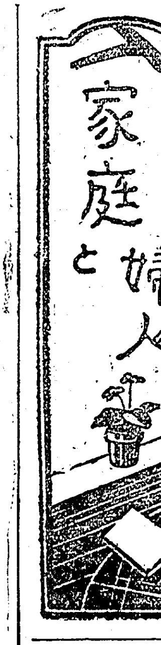
と、源十郎も決心した。

「その代り、今度は決して發狂してくれまいぞ、さうでなければ俺が……俺が困る、今までも困つた」

彼は火のやうな呼吸をした。

源十郎の、熱意を持つた言葉にお綾は殆んど無意識に寢床をすべり出て、彼の傍に這ひ寄つたのである。さうして身體を彼の膝の上に投げかけて、しくしく泣き出してしまつた。

自分の發狂してから、今日で幾日になるか、それは判然としたおぼえはないが、初夏から秋風立つ今日までの其間の記憶が中斷されてゐる。



# 傷病軍人に花嫁

嘉悦孝子

**傷**病軍人を慰問する人の中に、一時の慰安のをいつて歸る人のあるのは、感心なことだと思ひます。將來のことを痛切に思つてゐる傷病軍人に、一時の期待を持たせてそれを裏切つたら、一體どんな結果になるでせう。

◇

**た**ださへ明るい心を持ち得ぬ人々に、明るい心を持たすことの必要は目下の最大急務なのに、一時のウソで神經化さうとする人人のあるのは、悲しいことです。新しい女性は、女のもち得る最高の尊敬と同情を彼等に捧げます、その結果が、幸福な結婚となり、よき家庭の設計者となるでせう。

◇

**私**はその意義を生かさうと自分が經營してゐる學校の卒業生が組織してゐる光風會の人々に話しました。傷病軍人の花嫁となつて生涯をともにしようといふのですから、並み大抵のことではできまいと思つてをりましたが、その場で四五人の賛成者を得たのです。

◇

**私**はそれに力づき、多くの人々に呼びかけようとしてゐます。身體の不自由な人々のことですから、表に出て働くことはその妻がひきうけねばなりません。そこで私は、裁縫、ミシン、は勿論ですが、手藝教育に力をそゝぎ、特に一週間二度乃至三度の特別修身講話などによつて精神の訓練をはかりたいと思つてゐます

◇

**そ**の期間は大體一年の豫定ですが、ほかの人は二年乃至四年間で、習へることを一年でしなければならないのですから骨が折れませう。しかし貴い花嫁になるほどの人なら、それ位の努力は十分耐へて成功してくれませう。

◇

**私**は暗い心の傷病軍人に、明るい心を持つて貰ふために、さういふ花嫁のお世話をすることが、急務だと思つてゐるのです。

---

## 台所メモ

牛蒡、人參等は細い尻の分を先に使ひ太い元の方を後へ殘します、葱韮等は青葉の方を先に使ひ、白根の方を翌日へ殘します、馬鈴薯里芋甘藷等は傷のあるものや、小さいものから使ひ、大きいものを殘します

---

# 強健な子供をどうして得るか？

## 母性に必要な知識

**私**は時々「子供の健康増進に特別の強壯劑は無いか？」といつた質問を受けます、お母さん達の中には肝油とか、注射とか、冷水摩擦とか、　には蛇の黒燒とか、何々湯とか、何々錠の物まで用ひて我が子の健康を圖られるのでありますしかし強壯劑りの子供の保健の爲には其の一つ一つの方法のみで能事終れりとしては駄目です

◇

**例**へば子供の榮養問題に就きましても獻立ばかり如何に立派であつても齒が惡ければ榮養素を攝ることは不可能であり、齒が良くても子供が惡く咀嚼する習慣が無ければ無效でありますから單に榮養食といふ一つの方法だけでは其の目的を果す事は出來ません、殊に昨今では全體醫學といふ事が唱はれて居り、肺炎に對する手當ばかりでなく、齒齦の方も考へてビタミンＡＢＣＤを與へ全身の機能を徹底して治療しなければなりません

◇

**更**に近頃では非常に醫學が積極的になつて來ましたが、要するに文化も娛樂も含んで、萬物の靈長たる人間の子供を健全に發育させる爲めには、あらゆる要素が保健問題の對象となるのであります、私は此の樣な見地から子供の保健衛生には少くとも次の四つに目標を置いて實行すべきだと存じます

（一）兩親兄弟其他家族全員及友達の保健衛生に注意する事（二）家庭の環境の衛生に注意する事（三）子供の榮養狀態に注意する事（四）子供の健康教育に注意する事

◇

**先**年私はドイツの各家庭を見て來ましたが、物資は非常に缺乏して居り、バター等も切符制度 [illegible] 題でありますから、迚も痛切な問題であり、ドイツの家庭を見て來ますと、戰時下の日本の家庭は大變惠まれて居る事が判ります、しかも物價は日本の三倍位で收入はそれに伴はず、極めて惡條件であるにも拘らず、ドイツの中產階級位だと全收入の二十八％位は税金を納めるのであります

◇

**其**の金の大部分は社會厚生施設に充當され、物資は非常に缺乏して居てもさうした社會施設や保健衛生施設や厚生運動に依つて音樂とか歌劇とかの娛樂までも安價に見る事が出來、國民は至極朗らかとしてゐるのであります。ヒットラー氏は身を以て此の不如意の生活を體驗して居り、そして國民と共に樂しんで居ります

**一**方、ドイツの母親達は科學知識に富んで居りますから、物資缺乏を其の知識で補つて、明朗潑剌たる子女の育成も出來るのでありまます、召使の女中までも衛生知識、營養知識、育兒知識を持つて居り、政府施設も、不知不識の間にも拘らずとても具體的、實際的であり、細部を通して積極的に知識を求めて、生活内容を豐富にする事に努め、萬事が頗る合理的であります

◇

**ド**イツの婦人は日本の婦人に比較して何をしても不器用ですが、根本的なものを科學的に持つて居り育兒に就てもすべて自主的な方法でやつて居ります、例へばベルリンの子供は電車の中で起つてゐますが、之は子供の體育上の訓練からであります、ヒットラーの大ゲルマン主義に即應して確定した目標に向つて樹にも從にも恐く統一された政治施設が完備された結果であり、母親達も教育方針の一部門に例外なく動員されて國民的自覺がドイツの母親達にはチヤンとあるのであります

◇

**前**に申上げた全體醫學の立場も彼女達は諒解し、體得して居り、家庭保健の四要目たる衛生、醫學、榮養、保健教育の問題もそれぞれ研究し、改善し、工夫して居る事實は感嘆に値します（醫學博士、福瀬興氏談）

---

# 人的資源を確保せよ

# 花時から多くなる

◇……早產と流產を防ぎませう

なんとなく人の心も浮き立つ花見時になると、婦人科醫を訪れる患者の中でも、流產や早產の方がかなり多くなつて參ります、かうしたことで生れ出づべき一個の

**生命**が失はれることは獨り一家の不幸のみならず躍進の途上にある我日本の國家的損失でもあるわけで萬全の注意を以て防止しなければなりません、御承知の如く流產は姙娠四ヶ月以内で、胎兒が體外で生活し得ない時期に中絶するものであり、早產は七ヶ月以後で、し

ものです、つまり普通のお產は姙娠後二百八十日間、母の胎内にゐるのが當然ですが、流產や早產は發育の中途で不自然に抓出されるのですから早產の場合は看護がよければ

**發育**はしますが何れにしても母體は種々な危險を多く伴ひます、この流產や早產の原因は何かと申しますと、兩者とも大體同じ原因ですが、これを起す直接の原因と、これに罹りやすい誘因とがあります、先づこの誘因といふ

それから姙娠卵自體の異常から來するもので、前者は生殖器の異常、即ち子宮内膜炎、子宮位置異常、子宮發育不全等で、その他全身的異常として黴毒、淋病、結核、心臟病、腎臟病、

**脚氣**　糖尿病、急性傳染病等が擧げられ、後者では胎兒の畸形、胞狀奇胎、子宮外姙娠、前置胎盤、胎兒の發育不全、胎兒の死亡等が數へられます、なほ何等の原因がないのに流產する習慣流產といふのもあります、これらの

なる場合もありますが、[illegible]の原因として特に姙婦の注意を要することは、姙娠時の不攝生、殊に姙娠の初期と臨月間際の不攝生です、例へばポカく暖かくなつて來ると冬籠りから解放されて何となく

**外出**して見たくなります

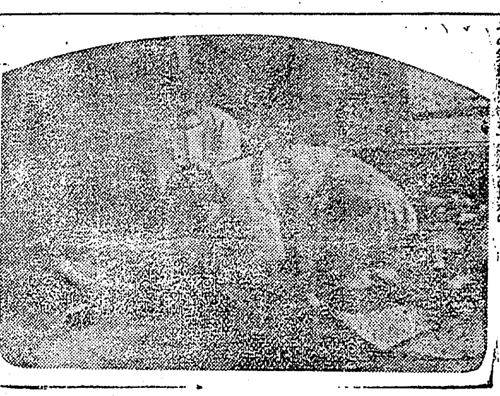
その氣持に誘はれて姙婦が長途の旅行をしたりドライヴをしたりするのがいけないのです、或時に澤山の洗濯をしたり、過度の運動をする事なども愼まねばなりません、勿論酒、コーヒー、胡椒、山葵等の刺戟性の飲食物も避けた方がよろしい

## 原因は梅毒が多い

そこで流產や早產がどんな工合にやつて來るかといふことを知つておく必要があります、これには急に來る場合と徐々に來る場合とがあつて、急に來る時は散步

**旅行**　或は舞踏等の後に突然腰部や腹部に鈍痛を覺え、同時に子宮出血或は羊水の流出を來し漸次その強さと度を增して遂に子宮の内容を娩出するものです、徐々に來る時は初め何等の自覺症狀なく、たゞ僅かに淡紅色の帶下を數日間持續し、次に腹部、下腹部の疼痛を伴ひ、十數日經つてから子宮の内容を抓出します、なほ流產には完全流產と不完全流產とがあつて、前者の場合は胎兒、胎盤、卵膜等が完全に子宮外に抓出されますから

**出血**も少なく自然に停止します、しかし後者の場合は内容物が殘存して出血や疼痛が持續し、續發症や產褥熱を來して不幸の轉歸を見ることも稀ではありません、姙婦は先づ姙娠の保護や異常を完全に治療しなければならず、時には母體を救ふために胎兒を犧牲にして人工的に姙娠を中絶させることも已むを得ません、特に梅毒から來る流、早產はかなり多いのですから必ず血液檢査を受けて不幸な事態を防ぐやうにしたいものです（醫學博士石崎伸三郎氏談）



―先づ醫者に見て貰へ―

---

# 家庭の戰時會議を開け

八十億から新たに百億を目指して貯蓄報國に邁進するに當り、お互にもう一度貯蓄の重要性とその實行方法に就いて考へて見なければならぬと思ひます

**戰爭に**はお金がいる、最前線の將兵の必需品をそのまゝ間斷なく供給するには、それだけ物を豐富に用意されなくてはならない、それで、銃後にあるものは、戰爭に入用なすべてのものを完全に戰線に送るつもりで貯蓄戰線に立つべきです、今までも各家庭が熱心に貯蓄を心掛けた結果、相當の成績を擧げて來ましたが時局の推移につれて、今迄のやうな生ぬるさでは力が足りないことをお互に自覺しなければならないと思ひます

**どんな**家庭でも反省して見て、全力を擧げて來たとは言ひ切れません、餘裕があり乍ら國債の一枚も買はなかつた家庭もあるし、何等生活刷新に飛躍を示さない主婦もあらう。かうした家庭では一層大の機會であるこれからの百億貯蓄を目指して大いに頑張らうではありませんか

**貯蓄は**主婦だけがやきもき心掛けても何もならない家庭全體が同じ目標へ [illegible]

あり季節の變り目でもあるから家族會議を開いて、家長は主人、主婦は主婦、それに子供や雇人までも加へてお互に理解し合つた上で自分々々の生活を長期戰下體制にむけかへるのです、百億貯蓄を遂行するには老人も子供も入れて一人當り平均約百圓づつの割ですから五人家族で約五百圓を捻出しなければならないのです、これは貧しい人も金持も引つくるめてのことですが、普通の生活をしてゐる家庭では是非これを實行する義務があるし、又可能性もある

**戰爭の**お金は政府が作ればよいと考へる人があるかも知れないが、政府が調達するにはどうしても現金をかけるか國民から借金するより方法がない、借金は公債の形で貸り出してゐますが、これとて、買ふだけのお金が家庭で用意しておかなければそれだけに成績が上らないことになりますそれに物價をこれ以上高くさせないためにも貯蓄は實に重要です、實行上の目標として

一、物は買ふな二、[illegible]服にかまふな三、生活[illegible]しかたを變へよ

この三つをこの際 [illegible] 心に [illegible] それぞれ新し [illegible] したいものです

---

# 大陸行進譜

大川秩兵五作　若山璞美畫

第九回

## 入院

「一體どうしたんだらう？」

この二三日彼は風邪氣味だつたり、溜つてゐる手紙の整理などをしてゐて、憲夫兄妹に會つてゐないのでどんな原因で入院をしたのか皆目見當がつかなかつたが、兎に角使ひの者の案内で病院へ駈けつけた。

玄關を入ると直ぐ廊下で通りがかりの看護婦に聞くと、手術が先刻終つたばかりで今二階の十一號室に入つたばかりだと教へられた。

「一體何處を手術したんですか？」

「左の第一關節の骨にひびが入つたんですけれど大したこともないでせう」

三十近いその看護婦はさう言ひ捨てゝサッサと行つてしまつた。

教へられた二階の病室の扉を敲くと直ぐ英佐子が顏を出したが、啓一の顏をみると何かなしホツとして

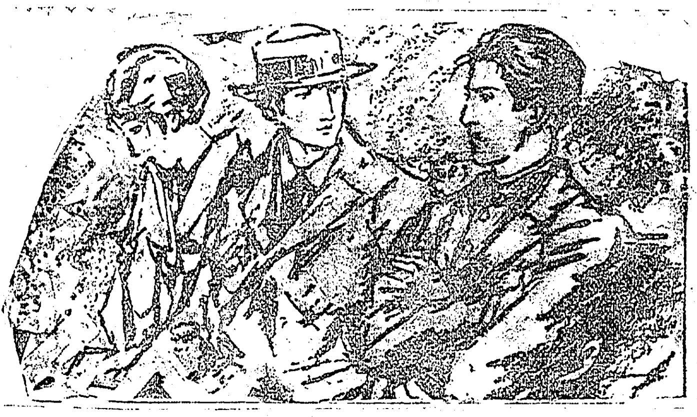
「どうも御心配かけて濟みませんでした」

とコクリとお辭儀をした。

「一體どうしてまた怪我なんかしたんです」

「昨日一人で三角山へ行くつて出かけたんです、すると、夕方おそくなつてから馬橇に乘せられて歸つて來るとスキーで足をくぢいたんだ、痛いけれど大したことはないつて云ふもんだから昨夜一晩中冷してゐたんですけれど」

「さうですか、あなたも隨分心配したでせう、兎に角――」



彼が靜かに室の中へ入つて行くと憲夫は手術の疲れでか、スヤスヤと眠つてゐたが、パッチリと細つぽい眼を開けて

「あゝ啓一君、來てくれたんですか、こんなことになつちまつて」

「いや驚いたよ、手術したんださうだけれど經過はいゝんですか」

「あゝ大丈夫らしい、然し今年はもうこれでスキーもお終ひだな、何だか東京へ歸りたくなつたよ」

案外元氣だ。　一と英佐子は顏を見合せて笑つた。

北國の深い冬も三月の月へ入るとめつきり春らしくなつて明るい青空が時々雲を切つて顏を見せた。

啓一はとの兄妹を置いて行くと何となく責任を感じ、遂々彼等と一緒に歸京することとなつた

「啓一君、君には全くお禮の申上げやうもないよ、何れ歸つたら御挨拶に伺ふことにします」

「わたしほんとに北上さんがゐらして下さらなかつたらどうなつてゐたかと思ふわ」

「いやアどうも、さう云はれると面喰がありませんよ、然しまア治つてよかつたですよ、それにしても英つちやんの苦勞は並大ていぢやなかつたね、兄貴たるもの當分頭が上らないと言ふ譯だね」

「ところが大威張りなのよ、あんな處に木の根つこを生やして置くのが不可ないんだなんて」

三人共お蔭で汽車の中も退屈でなく三日目に上野へ着いた。それつ切り三人は大都會の中に別々な生活へ入つて行つた。あれからもう二年になる。

---

旅舍　大幸館
私は平市出生ですから特に郷里の皆樣方の爲に御便利を圖ります
主人　比佐棟雄
東京上野驛前（下谷郵便局横通角）
電話下谷六七七番

國旗と提灯
平四　スゲノヤ

芳醇！
美味！
たひら正宗
山崎合名會社
電話一〇番

小店員數名募集、
▽年齡十三才より十六才まで
▽御希望の御方は面談の上相談致します
▽大至急御來店下さい
和洋紙　文房具　諸帳簿
坂本紙店
福島縣平市一丁目
電話一一八番
振替東京六六一一七番

聖戰下のプレゼントに
PILOT
斷乎として金を使用せず
タヲレテモ　コボレヌインキ進呈
御祝　記念文字彫刻奉仕
平市特約店　佐々木商店
電話二三三番

鐵管代用
エタニツトパイプ

|  | 耐壓封度 | 内經 | 一本ノ長サ | 一本ノ價額 | ギボルト繼手代 |
|---|---|---|---|---|---|
| Ｄ級 | 250 | 50ミリ | 3m | 3.76 | 2.25 |
| 〃 | 250 | 75 | 3 | 5.58 | 2.75 |
| Ｂ級 | 100 | 100 | 3 | 5.80 | 4.05 |
| 〃 | 100 | 150 | 4 | 13.20 | 6.07 |

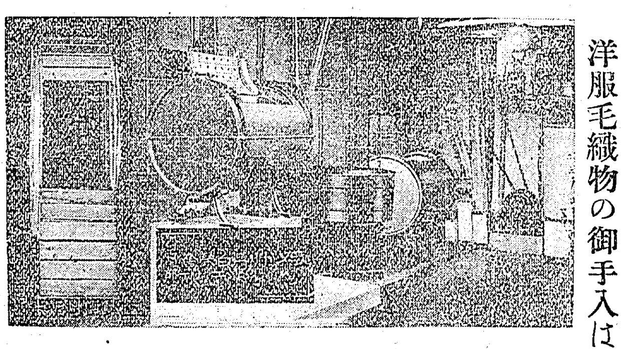
平市仲町通り
山田文一商店
電話262番

銃後の皆樣喜んで御使用になる
糸イラズ
綿布、綿糸、暴騰の折柄古き破れた足袋、靴下、メリヤス、ジヤケツ其他何品に依らず活かして御使用出來ますから一家の經濟は勿論ひいては國家の經濟は莫大のものとなりませう
男子の方や御子樣方でも容易に修繕が出來ます
糸や針がなくても立派に仕上りますから此の非常時の場合是非一家に一個御揃へ御使用下さい
定價　20錢　30錢
平市古鍛冶町一〇
阿康藥局
電話四四番
振替東京三〇〇六五番

春物は是非！
當店から
（在庫豐富）
平屋洋品店
平　田町通　電話六五六番

平病院（電六四一番）
平市警察署側【元共濟病院跡】
院主　醫學博士　鈴木定藏
内科・小兒科　院長　鈴木定藏
内臟外科・一般外科・皮膚泌尿器科　副院長　高橋俊幸
レントゲン科・物理的療法科　院長　鈴木定藏
藥劑科　部長　吉本孝平
◎診療時間　毎日午前八時ヨリ午後九時迄
（夜間診療ニ從事ス）（急患ハ此ノ限リニアラズ）
往診隨時
病室完備…入院隨時【自炊ノ便アリ】
入院料　一日　特等貳圓・一等壹圓五拾錢・二等壹圓參拾錢

是非！
御融通には御用命下さい萬事便利な御相談に應じます
公債、債券、質物一般
三井質店
平四　電話六〇六番

◎◎◎◎◎
洋服毛織物の御手入は今が最も好季節
絶對他店の追從を許さぬ
洗濯機械設備
平市第一
純ドライクリーニング
西洋洗濯
スチームプレス
電氣蒸氣仕上
ローラー仕上
機械應用
若し他店の御仕事で御氣に召さぬ節は
是非一度御試驗を!!!
◎優秀なる技術本位の
平市田町
白榮舍ランドリー